

とうかいコミュニティ通信

合同研究会

No.004



発行者：東海市総務部市民協働課

令和7年度 第2回「合同研究会」を開催しました！

- コミュニティを中心とした地域運営体制づくりに向けて、4つのモデル地区のコミュニティ（緑陽、渡内、富木島ふれあい、加木屋）の組織体制や活動の工夫等を共有し、課題解決の方策について考えることを目的に、今年度2回目の「合同研究会」を開催しました。
- 第7次総合計画まちづくり指標の各地区の現状値を共有するとともに、コミュニティ活動のさらなる活性化に向けて、「NPO・市民活動団体、企業、小中学校・高校、大学など多様な主体との関わり（協働）」をテーマに意見交換しました。

【日 時】令和7年9月16日（火）19時～20時30分

【会 場】東海市創造の杜交流館 北館 会議室1

【参加者】11名（緑陽2名、渡内3名、富木島ふれあい3名、加木屋3名）



各コミュニティにおける多様な主体との協働事例が共有されました

- 各種団体との協働の実績や工夫などについて活発な意見交換が行われました。

実績例	きっかけ・対話	信頼関係づくり、活動成果など
納涼盆踊り大会への中学生ボランティアの参加（企画・運営） 【富木島ふれあい】	<ul style="list-style-type: none">特に新しい住民にとって、コミュニティや子ども会などの地域の活動への関心は乏しい。・コミュニティの役員が中学校を訪問し、生徒に直接ボランティア協力を呼びかけた。・保護者への丁寧な事前説明に配慮した。	<ul style="list-style-type: none">・企画・準備段階から一緒に考えることで、新しい発想やアイデアが得られた。生徒をお客さん扱いし過ぎないことで、主体性が高まった。・実施後、生徒への感謝のフィードバック（報告）を心掛けた。・参加した生徒から“楽しかった”との感想を聞いた。役員も含めて、楽しく活動することが、今後の参加の輪を広げるのではないか。
社会福祉法人さつき福祉会との連携 【渡内】	<ul style="list-style-type: none">・さつき福祉会（障害者（児）施設の運営）からの声がかかり、新たな連携を進めている。・コミュニティの秋まつりにブース出店に防災訓練への参加など、ゆるやかにつながりを育んできた。	<ul style="list-style-type: none">・まずは活動の現場を知ってほしいと施設の現地訪問を予定している。・お互いの思いやニーズを相互理解するプロセスが重要である。・今後はコミュニティのボッチャ大会やさつき福祉会の秋まつりへの相互参加も検討している。
大学生・市民活動団体との「防災カフェ」の開催 【緑陽】	<ul style="list-style-type: none">・社会福祉協議会が日本福祉大学からの相談を受けてコミュニティにつないだ。・大学生にとってアクセスしやすい場所が望まれる。・コミュニティとして“来るもの拒まず”的柔軟な姿勢が協働につながっている。・市民活動団体「とうかい防災ボランティア・ネット」とのつながりも生かして、3者で「防災カフェ」が実現した。	<ul style="list-style-type: none">・大学生が自ら避難経路の調査を行うなど、主体的に動いてもらうことで、「お茶を飲みながら楽しく防災を学びあう」という新しい視点や活動を生みだすことができた。・地域住民や市民活動団体のメンバーにとって「孫世代」といえる大学生の活躍によって、活動に活気が生まれるなど相乗効果が生まれた。

- 次回は2月頃に、これまでのモデル地区の取組の成果や課題の振り返りを行う予定です。

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市総務部市民協働課

電話：052-613-7525 Email：chiiki@city.tokai.lg.jp

0562-38-6136